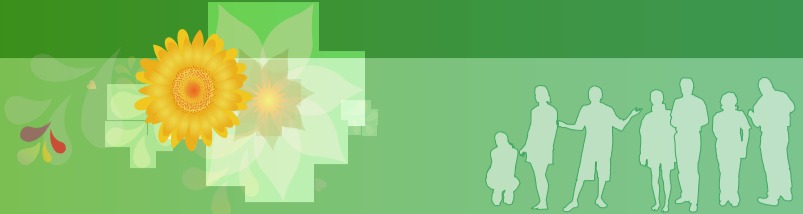


平成26年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

寺沢 文子 (声)

「富山型デイサービス」の導入

問 ①医療・介護法改正に伴い、区では独自サービスの提供を必要とする対象者をどのように想定し、準備しているのか②「富山型デイサービス」とは、高齢者も障がい者も子どもも区別することなく、誰でも一緒に同じ場所で過ごす福祉サービスであるが、導入に向けて検討してはどうか。

答 ①対象者の想定については、現行の要支援認定者と、介護予防事業対象者の抽出に使用するリストを基に作業を行っている。サービスを提供する事業者については、近隣区も含め広く確保に努めるとともに、ボランティア等の活用も必要と考えている②全国的に認められている事業と認識している。区内で本サービス実施を希望する事業者が現れることを期待する。

はやお 恭一 (千代田)

在宅療養に向けての取り組み

問 在宅療養の推進整備にあたり以下を問う①医療機関や医療職等の充足率及び区民意識②担当部署名及び推進協議会での検討課題③チーム医療を担う人材確保・育成のための教育研修制度。

答 ①施設入所希望者は全体の1割、在宅療養が増加見込。介護者等の不足を予測②担当は地域保健課と在宅支援課。実態把握や在宅療養ネットワーク推進を検討③専門人材の役割は大きく、人材育成研修等の必要性は高い。

在宅療養と施設介護の方向性

問 ①巡回型訪問、施設型サービスの方向性②在宅療養推進のための財政計画上の検討状況、以上について問う。

答 ①双方のバランスが重要②長期計画と並行して3年ごとの見直しを実施。

岩佐 りょう子 (民主)

2020年以降を見据えたまちづくり

問 ①歴史的建築物保存と開発の両立への考えは②まちみらい千代田を活用し、歴史的建造物の保存支援が可能では③九段会館に対する区の対応は。

答 ①所有者と協議し、開発と保存活用の両立に努める②対象建築物が多く、十分な経費負担は困難③国が所有者に定まったことから協議していく。

出産・不妊治療助成について

問 妊娠時の①超音波検査の受診助成の拡充について②子宮頸がん検査、HIV抗体検査の妊婦枠の確保や情報提供をしては③特定不妊治療支援として、低利融資制度を導入しては。また、対象者を事実婚夫婦等へも拡大しては。

答 ①今後検討②関係機関に協議を働きかける③国や都の動向も注視し検討。

木村 正明 (共産)

住宅相談窓口で住宅弱者支援を

問 不動産業者と協力し、高齢者の入居を支援する相談窓口を創設しては。

答 住宅関連事業者等との連携による、「居住支援協議会」の設置に取り組む。

騒音・振動・風害対策の強化を

問 ①区独自に解体工事等の「騒音・振動対策の技術的指針」を作成しては②解体工事の説明会と詳細な報告を行うよう改善すべき③解体工事の紛争時に、区が調整役として技術的支援等もできるようにすべき④高層ビル開発事業者にビル風対策をとるよう指導すべき。

答 ①地域の実情に応じ対応するよう指導②親身に説明するよう指導し、説明経過等の報告書提出を義務付けている③工期が短い場合調停等はなじまない④植樹等による対策は継続的に指導。

